

共産党

行き場のない人への対応は

問 ①緊急一時宿泊事業と総合相談推進事業の詳細は②年末年始の年越し対策が重要だが、きちんと対策するのか。

答 ①現在事業者の選定手続き中であり、平成21年中の事業開始に向けて努力している。この2つの事業を活用して、住居や仕事を失った人の自立を支援していきたい。

②国や他の自治体の動向も注視しながら、何らかの適切な方策を講じることを検討していきたい。

農地転用許可を厳格化

問 農地転用の問題点と今後の対策は。

答 転用後、短期間で用途を変

更するケースが目立つことから、平成21年9月、「露天施設を目的とした農地転用申請についての取扱要領」を策定し、22年2月から適用を開始する。

農地を借りて転用する場合、一時転用扱いとし、ほかの用途への変更は認めない。また、農地を購入して転用する場合も、工事完了後、原則1年間はほかの用途への変更を認めない。

いっそう厳正な審査に努めるとともに、転用許可後の現地把握も励行していく。

戦災資料の展示のあり方を検討

問 (仮称)市立平和空襲

資料館の開設時期と場所は。また、戦災資料の収集計画、収蔵庫の確保は。

答 戦災資料の収集については、平成22年3月に広告掲載を行い、資料収集と整理を行う予定だ。

資料収集の状況を見ながら、展示施設の内容や設置場所、収蔵庫等についても「戦災資料等の展示のあり方検討委員会」で協議し、できるだけ早い時期に具体的な案を示したい。



勤労者福祉会館内に展示されている戦災資料

新風会

区役所の執行体制

問 区役所の執行体制は多少の無理や矛盾があるのではないかと。特に土木・農林部門の執行体制には大きな課題があるのでは。

答 事務移譲に伴い、県と比べて事業が遅れるようなことはあってはならないことで、むしろスピードアップして移行のメリットを感じてもらえるように取り組んでいる。

引き継ぎに伴う混乱はあるものの、県から職員の派遣も受け、指導を受けながら職員一丸となって取り組んでおり、心配ないと考えている。

第25回国民文化祭 開催期間中のおもてなし

問 期間中、来訪者に岡山の魅力を味わってもらうために、どのようなおもてなしをするのか。

答 平成22年10月開催の国民文

化祭は、アマチュアを中心とする文化活動の成果を全国規模で発表し、競演し、交流する日本最大の文化の祭典だ。全国各地からの訪問者を心のこもったおもてなしで迎えたい。



本庁舎1階に設置された国民文化祭カウントダウン看板

岡山らしい演出に工夫を凝らし、会場が集中するカルチャーゾーン周辺や、岡山駅から会場までの動線に連なる地区を中心

に、各団体が計画するイベントが集約されるよう働き掛けたい。
市民病院移転計画の白紙撤回と基本構想(素案)との整合性

問 操車場跡地を(仮称)岡山総合医療センターの候補地とするのは市民病院移転計画の白紙撤回と整合性がとれないのでは。

答 平成17年に当時検討されていた市民病院移転計画については、公的に必要な医療の明確化と市民負担の抑制という2つの視点からの整理が不十分で、現状の機能とあまり変わらない形での建て替えであったことから、原点に戻って検討することになった。これまでさまざまな角度から検討を重ねる中で2つの視点についても整理がつき、基本構想(素案)を発表した。

立地については、センターが実施するER型救急医療の構築に不可欠な岡山大学病院とのアクセスや、他病院との連携のし